

琵琶詩吟名匠録

- 鶴派琵琶師史本部
 - 会主 鶴田 錦史
 - 136 東京都江東区亀戸三ノ丸ノ二
 - 電話 錦田六四三二番
- 錦心流琵琶師史本部
 - 113 東京都文京区本郷三ノ丸ノ二
 - 電話 小石川 七五七四番
- 錦心流琵琶師史本部
 - 400 甲府市相生町二丁目四ノ七
 - 電話 (35) 三三三三番
- 支部長 志田 錦禪
 - 400 甲府市相生町二丁目四ノ七
 - 電話 (35) 三三三三番
- 副支部長 長谷川 錦侯
 - 405 山梨県山梨市小原西
 - 電話 山梨一〇番
- 幹事長 近藤 錦秋
 - 400 甲府市朝日三丁目十一ノ七
 - 電話 (22) 八五五七番
- 輝水会北米支部
 - 支部長 福手 錦稜
 - 國風流詩吟部 (國慶)
 - 羅府市サマーセット通(天)
- 薩調琵琶、詩吟晴風会
 - 會長 浅野 晴風
 - 164 東京都中野区中野二ノ五ノ六
 - 電話 浅野八九二二番
- 薩摩琵琶、齊曲会
 - 125 東京都葛飾区青戸五ノ五
 - 電話 二丁目 一九九ノ五
- 吟詠、吟舞
 - 125 東京都葛飾区青戸六ノ六
 - 電話 二丁目 一九九ノ五
- 菊水流本部
 - 125 東京都葛飾区青戸六ノ六
 - 電話 二丁目 一九九ノ五

大館派琵琶洲楓会本部

- 家元 大館 洲楓
 - 150 東京都渋谷区渋谷二丁目六ノ四
 - 電話 青山(40) 四〇九一番
- 錦心流大館派教授
 - 166 東京都杉並区成田東三ノ二
 - 電話 電話 三三三四番
- 前田 洲月
 - 103 東京都豊島区白金三ノ二
 - 電話 白金 三六一七番
- 錦心流大館派洲城会
 - 會長 野地 洲城
 - 250 小田原市幸町四ノ三ノ二
 - 電話 (055) (34) 〇九二四番
- 琵琶、詩吟教授
 - 磯川 桑名 洲聖
 - 108 東京都豊島区白金三ノ二
 - 電話 白金 三六一七番
- 大館派琵琶、詩吟
 - 大館派琵琶、詩吟
 - 359 埼玉県所沢市日吉町七ノ三
 - 電話 (26) 三三三三番
- 大館派琵琶、詩吟
 - 154 東京都世田谷区梅丘一ノ一六
 - 電話 世田谷 四七五五番
- 錦心流大館派琵琶
 - 133 東京都江戸川区東小岩一ノ一
 - 電話 三ノ三 電話 五五五六番
- 大館派琵琶、詩吟
 - 洲楓会 山田 洲鳳
 - 160 東京都新宿区新宿一ノ二八
 - 電話 電話 七三六六七番
- 錦心流大館派琵琶
 - 彼ノ 矢洲友
 - 160 東京都新宿区花園町二七
 - 電話 電話 五七五五番
- 琵琶、錦古流詩吟
 - 古水 針谷 錦古
 - 370 高崎市岩鼻町二四七
 - 電話 高崎(46) 三〇〇六番

日本琵琶協会の

- 事務所 東京都港区西新橋一丁目
- 105 電話 一ノ七 電話 三七八九番
- 薩摩 正 絃 会
 - 事務所 東京都港区西新橋一丁目
 - 105 電話 一ノ七 電話 三七八九番
- 薩摩 正派 城流琵琶
 - 105 東京都港区芝公園一ノ一
 - 電話 電話 四〇七番
- 岳城流琵琶、詩吟一誠会
 - 145 東京都大田区久が原一ノ七
 - 電話 電話 二八二二番
- 岳英 伊藤 長四郎
 - 145 東京都大田区久が原一ノ七
 - 電話 電話 二八二二番
- 正派 岳城流琵琶
 - 城山会北海道支部
 - 060 札幌市南九条西三ノ一
 - 電話 電話 (52) 二五五六番
- 薩摩琵琶錦水会本部
 - 153 東京都目黒区中町二ノ二
 - 電話 電話 六九三六番
- 吉水 錦翁
 - 153 東京都目黒区中町二ノ二
 - 電話 電話 六九三六番
- 薩摩琵琶正絃会
 - 理事長 辻 靖剛
 - 事務所 185 国分寺市東元町一ノ七
 - 港区西新橋一ノ一ノ七
- 前田 秋声
 - 141 東京都品川区西五反田四ノ八
 - 電話 電話 八三三二番
- 蘇川流琵琶本部
 - 田邊 錦波
 - 220 横浜市西区西戸部三ノ三
 - 電話 電話 二九九(叶) 一四四
- 薩摩琵琶、正絃会
 - 鶴城会 岡尾 鶴城
 - 420 静岡市田町一丁目三三

錦心流琵琶教授

- 本水会 松田 静水
 - 105 東京都大田区南千束三ノ七
 - 電話 (七三) 七〇七〇番
- 錦心流琵琶教授
 - 本水会 廣瀨 綴水
 - 573 大阪府枚方市上高東町四ノ四
 - 電話 電話 (七三) 〇九三番
- 錦心流琵琶
 - 141 東京都品川区小山本町八ノ一
 - 電話 電話 九六一八番
- 錦心流琵琶、澄水会
 - 會長 友吉 澄水
 - 111 東京都台東区東上野一ノ六
 - 電話 (34) 四二五一番
- 一水会埼玉支部長
 - 南水会 石坂 南水
 - 332 川口市朝日町二ノ八八
 - 電話 電話 (52) 二三八三番
- 錦心流蓮水会
 - 會長 三浦 蓮水
 - 662 西宮市羽衣町七ノ三四
 - 電話 電話 (33) 〇三六番
- 錦心流琵琶、尾洲葵会
 - 會長 稻葉 葵水
 - 466 名古屋市昭和区瑞穂町二ノ七
 - 電話 電話 (53) 〇三六番
- 國想 高橋 肆水
 - 233 横浜市南区大岡町八三六
 - 電話 電話 (73) 四六八一番
- 鎌倉琵琶
 - 春山会 曾我 龍城
 - 248 鎌倉市長谷二ノ二八
 - 電話 (04) 九〇二五番
- 古家 絃風
 - 124 東京都葛飾区立石一ノ二
 - 電話 電話 五七三九番

錦心流琵琶教授

- 吉野 洲水
 - 916 福井県福江市本町二丁目
 - 電話 (51) 〇〇四四番
- 北陸琵琶同好会本部
 - 會長 田中 歷水
 - 930 富山市太田口通二丁目六
 - 電話 (21) 電話 (31) 〇六番
- 錦心流琵琶、詩吟教授
 - 會長 田中 篁水
 - 920 金沢市天神町二丁目六ノ三
 - 電話 (〇六) (31) 五三三八番
- 錦心流琵琶
 - 愛吟会 山田 幻水
 - 237 横須賀市船越町一ノ五〇
 - 電話 (46) 三六七六番
- 錦心流琵琶教授
 - 紅水会 平野 鉦水
 - 249 逗子市横山三丁目一ノ三
 - 電話 電話 (71) 七八七六番
- 玄象会
 - 113 東京都文京区西片町二ノ二
 - 電話 (83) 一五五一番
- 吟詠教授、吟松会
 - 會長 中村 松聲
 - 430 浜松市東区谷町三七一
 - 電話 電話 (71) 七六六〇番
- 錦心流琵琶速水会
 - 會長 山口 速水
 - 116 東京都品川区西目黒一ノ二
 - 電話 電話 九一九三番
- 錦心流一水会中央支部
 - 幹事長 戸谷 曙水
 - 110 東京都台東区下谷一ノ八
 - 電話 電話 三二一五番
- 日本琵琶振興会本部
 - 錦川 鈴木 密水
 - 343 埼玉県越谷市東方一三九
 - 電話 (04) (82) 一四一三番

非売品

編集兼発行者 鈴木 普士

東京都練馬区豊玉北五ノ十一

芸の友社



琵琶特集 九月号

山崎光掾師の大和流琵琶吟大会

九月十九日十一時 大阪三越ホールで



(山崎光掾師)

現代の筑前琵琶界の第一人者として定評高い名人、大阪の山崎旭萃女師が創案された大和流琵琶吟は、

故橋会宗家橋旭宗師の生存中に流祖光掾として許されて茲に七ヶ年今や会員は地元大阪を始め、東京、近畿、山陽、山陰から四、九州にかけ多数を擁し、特異性の琵琶吟法は愛好者増加の一途にあるが、二回目の大和流琵琶吟大会を九月十九日午前十一時より大阪高麗橋の三越大阪支店の大ホールに於て開催される事となつた。琵琶は筑前琵琶の特徴と詩吟の長所を巧みに調和した短時奏の和楽で、趣味音楽として最適な優美なものである。この大会には地

元京阪神は勿論東京、名古屋、彦根、山陰、山陽並に九州と四国地方からの会員が参加し、魂心の技を競う大熱演を展開される筈で今秋の楽壇中異色の好味物として人気を呼ぶであろう。

筑前琵琶会古の老で日本会の大幹部であり、東京旭会の名幹事長として人格識見を謳われ、温厚篤実の紳士と人望高い吉田旭明師は、郵政官として在職四十余年六月末で停年退官された。これを機に琵琶道五十周年の趣味を生かした記念演奏大会を九月十二日午前十一時半より新宿伊勢丹ホールに於て開催される。この催しに関西琵琶道で名譽を馳せた若宮旭登女史も、同じ琵琶道五十年となつたので共同主催で挙行するに決つた。従つて両師共催は戦後始めての事として、出演者選定に重点を置き苦慮されたあとが窺える。出演は東京旭会系の親交ある花形名手と、京阪神の旭会の元老と新鋭の人氣

吉田旭明師 両師 若宮旭登師 琵琶道 五十年 記念大会

九月十二日伊勢丹で 関西の名流多数出演



(吉田旭明師)

大家八名が特選来演という陣容である。即ち東京では吉田、若宮両主催者、田中旭嶺、谷口旭香、安倍旭静、宮川旭花都、須田旭綱、田中旭公、春日井旭桂諸氏。関西よりは神戸の松岡旭園名人を始め伊藤旭暢、大阪の至宝天津旭八千代、東大阪の榎本旭旭会長、東大阪の高千穂旭楓、樋口旭緒、京都戸倉旭嶺、大阪中央の竹本旭将の各氏で、初秋の東京楽壇を飾る大顔合せで好人氣を呼ぶであろう。各出演者の奏曲と順位は左の通り

加羅の兜 竹本旭将 ▲柳の精、樋口旭緒 ▲湖水波 高千穂旭楓 ▲秋風故郷山、戸倉旭嶺 ▲未練

西行 春日井旭桂 ▲羅生門 田中旭公 ▲衣川 須田旭綱 ▲若き敦盛 宮川旭花都 ▲橋中左 榎本旭風 ▲忠度 安倍旭静 ▲坂崎出羽守 伊藤旭暢 ▲綱籠 会主吉田旭明 ▲玉の御声 松岡旭園 ▲安宅の開 会主若宮旭登 ▲玉藻の前 天津旭八千代 ▲山田長政 田中旭嶺 ▲山吹の夢、谷口旭香 ▲外谷口旭香吟詠十二名

山元師が北海道へ

錦城流詩吟宗家山元錦城師は、北海道在住会員激励と避暑を兼ね視察のため八月十五日東京出発し北海道へ向つた。帰京は月末頃と

日時 四十五年九月十二日午前十一時半開演
会場 新宿区 伊勢丹大ホール

琵琶道五十周年記念
筑前琵琶演奏会
吉田旭明 若宮旭登 主催

各地名流 多数出演
錦心流琵琶一水会本部理事

江北支部相談役 埼玉中部支部顧問
藤川 晴水
大宮市櫛引一ノ二二七
電話 東京(03) 九〇五八番

薩摩琵琶岳城流
横山 岳玲
札幌市南九条西三丁目一〇
電話 (52) 二五四六番

日時 四十五年 九月十九日午前十一時開演
会場 大阪市高麗橋 三越大阪支店ホール

大和流琵琶吟全国大会
各地会員出演 主催
大和流光掾会本部 筑前琵琶山崎旭萃

芸の友二十年の回顧

(二)

昭和三十三年

八月 札幌市の山崎紅水師主催の全道琵琶大会が市民会館で開かれた。この月大館州旗師は本社鈴木善士社長と同道して戦後始めて北海道の旅へ。函館、小樽札幌、室蘭の各地の歓迎会に出演され好評を受けた。

十月 三浦蓮水後援会主催の琵琶と舞踊の会が大阪の三越ホールに於て開かれ本社鈴木社長出席。十一月 文部省芸術祭参加の琵琶名曲鑑賞会が池上三三主催で、丸ビル地下演芸場で初めて行われ、各派選抜名手出演した。

十二月 一水会本部役員と鈴木次郎氏との確執事件は、本社鈴木善士社長の斡旋にて和解談合成立、鈴木社長は本部全役員と鈴木次郎氏並に附人望月江江氏を池袋の梅屋に招き和解の手打ちを行った。

昭和三十四年

二月 薩摩派西幸吉翁門下の名手で、禅僧の大辻空山老師が逝去。三月 二十二日輝水会宗家輝錦凌名人が長逝され惜しまれた。

九月 田中環水師四十年記念大会が世田谷区医師会館にて催され、また故吉村岳城師七回忌追善大会が日本橋相互銀行ホールに於て、同日二十日故輝錦凌宗家の追悼琵琶大会が故師由緒の神田料亭会館に於て各催された。

昭和三十五年

四月 雨宮国風師(琵琶名薫水)の国風流吟詠日米交歓全国大会が横浜の県立音楽堂にて開く。また群馬県高崎市の針谷錦古師の錦古流吟詠三周年記念大会が高崎にて開催された。

五月 長野計器社長溝呂木錦風氏が黄綬褒章を受賞された。小田原の野地洲城師の斯道五十年大会が小田原で催された。薩摩琵琶修練会の二十周年記念大会が催され、鹿児島より三名家が上京出演された。

六月 日本琵琶音楽協会結成記念大会日本橋三越劇場で挙行す。十月 田中環水師の大会が交詢社にて開催され、また浅野晴風師の「物語琵琶」の発表会が中野公会堂に於て催された。

十一月 筑前琵琶日本会会の全国大会が九州長崎に於て開かれ、本社鈴木社長が初めて九州旅行をされ参観した。

昭和三十六年

五月 溝呂木錦風氏が琵琶作興会を結成し第一回演奏大会を日本橋第一証券ホールにて開かれた。五月 吟詠界の巨匠伊藤長四郎師の一誠会三十周年記念大会が九段会館に於て挙行された。

昭和三十七年

二月 水藤錦蔵さん初渡米。三月 山元錦城師宗家の錦城流吟詠の全国大会が東京新宿の伊勢丹ホールで開かれた。

四月 久邇宮家祖先祭が芝浦迎賓館に於て行われ、御臨席の天皇、皇后両陛下、皇太子御夫妻の御前にて伊藤長四郎、笹川鏡江両吟詠界の名匠が講演の光栄。

十月 鶴田錦史師後援会主催で琵琶の祭典が銀座のガスホールにて催され、功労者表彰が行われ十名の方へ記念品を贈呈された。

十一月 錦城会開大会が西国公会堂で催され、また紅会第二回公演を新宿伊勢丹で開演す。この月大阪山崎旭華師後援会が設立された。

昭和三十八年

五月 輝水会山梨県支部の大会が甲府市にて開かれ東京の名手が多数出演す。

昭和三十九年

五月 山元錦城師が新宿伊勢丹にて琵琶演奏会を催す。

八月 札幌の内山裕水師が大会を開き戦後最高の人気獲得す。九月 笹川良一先生、夫人鎮江女史と渡米された。

十月 琵琶三寿会が結成され第一回公演が毎日ホールにて開く。鶴田錦史さんが映画怪談にて耳なし芳一の作製に協力出演。笹川鏡江師が詩吟静風流を樹立し宗家を宣言発表された。

十二月 薩摩琵琶女流の長老岡部錦舞師の喜寿祝賀会が大阪で。此の年初めて琵琶コンクールに文部大臣賞が授与され、新部被水さんが受賞す。

昭和四十年

二月 新部被水さんが文部大臣賞の受賞記念琵琶会を開催す。三月 錦心流錦堂宗家の山口錦堂師が長逝された。

四月 芸の友社十五周年記念名流琵琶芸術鑑賞大会が新宿安田ホールにて催され、全国各地よりの大家八十余名が参加出演す。

祝典御参列芳名

芸の友八月号へ記載せる芸の友社二十周年記念祝典の御参列と御支援者芳名の内、東京の田中旭千栄、糸谷旭緒、鳥取の北村旭良の三女史並に東京の山崎典水氏の御氏名が記入漏れとなつて誠に失礼を致しました。茲に謹んでお詫び申し上げます。(係)

旭会の全国大会

筑前琵琶日本会会の恒例大行事である全国大会は、創始以来今年で四十回目であるが、来る十月三日と四日の両日に亘り熊本旭会司会で同市の市民館にて開かれる。

九月中日劇場の

鶴田師の「鬼火」

現代日本舞踊界の巨頭、名古屋の西川流家元西川三郎師は、恒例の名古屋おどりを九月中日劇場に於て二十日間に亘り開演されるが、この公演に上場される演目の内の「鬼火」は、東京琵琶の名匠鶴田錦史師の琵琶で新作された戦国武将伝の一部で力作である。好人気を呼ぶであろう。

鶴田師の三地出演日

鶴田錦史師が、アメリカニューヨーク交響楽団の訪日公演に当り大阪、東京、札幌の三地で公演に同行出演されるが、その日程が決つた。八月三十日大阪国際フェスティバルホール。九月七日東京上野文化会館、九月十日札幌。

異色名手特出の

藤巻旭鴻師主催

筑前琵琶演奏会

九月五日十一時

新宿伊勢丹にて

筑前琵琶日本会会本部の役員であり、名実共に東京旭会を代表する程の大家である藤巻旭鴻師が毎年一回いっきの愛好家へ対する感謝演奏の演奏会が来る九月五日午前十一時より新宿伊勢丹ホールに於て開催される。この催しは日



(藤巻師)

本精神作興のため全国的に奔走し活動を続けている藤巻師と、旭星夫人、旭陽、旭影、旭鶴の令息達を挙げての努力が見事な花を咲かせるのである。今回の演奏は旭鴻会一門と藤巻師親交の地方旭会の新進や中核の花形で、富山、大阪名古屋、福岡、熊本の各地の新鋭連、それに東京旭会の大津旭紅、安倍旭静さん外の女流名手、水藤錦舞、仲川秀邦、吾妻江風の大家等が出演し、上演曲二十三曲に及ぶ盛り沢山の、日頃の支援愛好に酬ゆるもの、奏曲中に舞踊曲三、華道曲一、茶道曲一、特別番組として「印度舞踊」が上演されるので大人気を呼ぶであろう。

当日の司会者は三遊亭旭生で楽曲と出演者の通り

新曲お蝶夫人 藤巻祐子(八歳)
絃旭鴻 ▲山吹の夢 清田旭優、絃藤巻旭影、長谷川旭苑 ▲菅公 林田旭一 ▲華道華の恵み 藤巻旭星、古川旭冷、絃藤巻旭陽 外四名、生花吉田玉園社中 ▲青の洞門 富山黒田旭映 ▲羅生門 歌大野旭翠、橋上旭葵、上原旭昇、大津旭紅 ▲断琴、吉田旭泉 ▲堅田澤 大阪大西旭好 ▲天の羽衣 歌長谷川旭苑、熊本松岡旭照、絃樋口旭清、安倍旭静 谷口旭節、笛石高、立方柳原電

新総伝四人披露

中央支部の大会

九月十三日正午 菓子会館ホール

錦心流一水会の最古支部で、会員親善満ちた全国的模範と定評ある一水会中央支部では、昨年来副支部長出口石水師を始め、朝倉神水、菊地甘水、佐藤晴水の四氏が、多年に亘り斯道に尽した功績と技術向上を認められ、斯界最高位の総伝昇叙を一水会本部より允許された。昨秋は中央支部が錦心祭全国大会を司会された関係で昇任披露会の開催を見合せて居られたので、今回新総伝四者の披露を兼ねた秋の演奏大会を九月

支部創立記念大会

錦城会東京本部

明治神宮奉吟大会

今回新設された東京多摩支部では、九月二十日に小金井市福祉会館に於て創立記念演奏大会を開催する事となり伊藤馨水支部長以下全役員で準備を進めている。

日本人伝統精神である武士道魂と道徳精神の教化に心を捧げる女丈夫、錦城流吟詠宗家山元錦城師主管の錦城会東京本部では、四十五年度明治神宮奉吟納詠大会を七月二十六日午前九時より神宮外苑集参殿に於て開催した。この大会開始に先立ち同日朝八時に全

筑前保存会の演奏

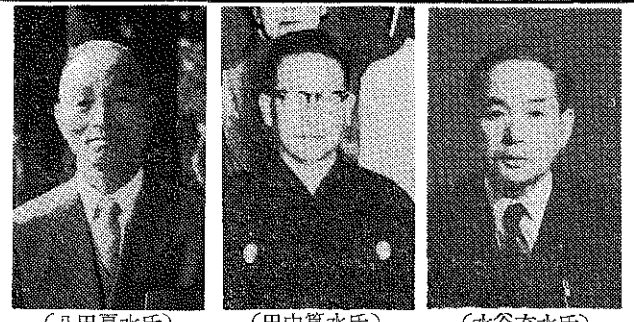
会へ東京若手連が

筑前琵琶の発祥地福岡市の愛琵琶有志で結成され、同地の名演奏家嶺旭娘女史が中心となつて運営されている筑前琵琶保存会は、毎年秋に演奏大会を開催し、全国的に高名な大家を招き出演を願つて来たが、今年は大家ばかりでなく将来有望な新進若手を招じて競演す企画で、既に東京より水藤五郎半田綾子、藤巻旭影、藤巻旭陽の四氏が候補に選ばれている。

鈴木本社社長避暑へ

本社鈴木善士社長は八月九日より十一日まで喜美子同伴で箱根へ避暑静養された。

十月金沢で開く 一水会全国大会 主催側の首脳者



(水谷赤水氏) (田中寛水氏) (八田夏水氏)

錦心流琵琶一水会の年中の最大行事である錦心祭全国大会大演奏会は、既報の如く来る十月二十五日に一水会金沢支部の主催で同市本多町の北陸放送局ホールに於て

行される全国本支部名手を大会翌日に市内観光に御案内の考案もあるという。金沢市は北陸第一の大都市で、百万石の大名前田侯の城下であり市内に有名な日本三大公園の一つである兼六公園を始め、成興閣、美術館、尾崎神社、尾山神社その他寺院や大建築物等名所旧蹟が多く、能登半島観光への基点でもある。又市を中心として北陸温泉郷として知られた山中、山代、片山津、栗津の各温泉場、また名所として安宅の関、那谷観音、仏御前の墓等があり遊覧に事欠かぬ。名産や名物も多く、九谷焼、織物、漆器、美術工芸品、銘菓その他で観光者を羨まされるもの。

支部長 水谷赤水師

中秋金沢で開く一水会全国大会の立役者は、支部長水谷赤水師である。東京本部と全国四十地区支部よりの来客(参加者)を一手に引受け、大会終了までの責任を荷う手腕と英智の人。明治四十年富山に生れ、大正十四年に当時銀行勤務中の同僚数田録水の琵琶にあこがれ入門したが、斯道への初歩で、昭和三年三月奥伝、十六年富山NHK支局より「城山」を放送して名を知られた。二十一年現在の金沢に転住され、三十八年に田中算水氏主唱で金沢支部が結成され参加し、四十年幹事長に就任。四十四年四月二代支部長八田夏水氏の辞任により三代目の支部長に推挙されて今日に至る。温厚朗朗

前支部長 八田夏水師

金沢の二代支部長は同地四絃界の傑物であり長老格の八田夏水師である。師は琵琶旺盛時代の青春に燃ゆる頃、一代の名星を目指し専門家を志して上京、宗家師範役の山口錦堂師について懸命の練習を積み重ねた。初志を貫徹して帰郷された程に、修技の牙は尋常一様の好者の列ではない。円満重厚の直情味豊かな処世の中にも不屈の北陸男子の魂が窺える。正に金沢琵琶界の重鎮と光る。

各地の招演で多忙 人気の柴田旭堂師

日蓮聖人信仰の筑前琵琶の名匠として全国的に名声高い神戸の柴田旭堂女師は、佐渡国柱会よりの招きで、七月八日の日蓮上人法難



(柴田旭堂師)

を期した佐渡会館での催しに出演され、琵琶一曲を演奏し満員の聴衆を深感させて大人気を博した。また七月二十三日は須磨の敦盛塚の前で「敦盛の曲」を、二十六日

山本旭城師五十年 記念琵琶の大会 十一月彦根にて

筑前琵琶日本橋会の元老格で、本部の専務理事である彦根の山本旭城師は、琵琶道満五十年を記念し来る十一月一日市民会館に於て琵琶大演奏会を開催すべく準備を進めて居られるが、これを機に一門の花形で目下橋会若手女流の人気の筆頭である林田旭華さんに「二代目旭城」を襲名させる披露が行われる事に決り両師は準備に多忙である。この大会には山本師門下と林田さん門下の両会員と来賓として山崎旭華、山元旭錦、板谷旭昌、光田旭扇、松本旭柳、堀田旭甲、吉田旭運、志水旭城、前田旭城、稲葉葵水、仲川旭朋の諸大家と、贊助に丹生谷旭春、佐伯旭瑛の両名花の出演交渉中と。

文部大臣賞を 目標の琵琶コン クール申込み早く

目標の琵琶コンクール申込み早く

日本琵琶協会の主催の四十五年度琵琶コンクールは、前号報道の通り九月二十七日銀座交詢社ホールに於て開催される。この催しは新人の登竜門として主催側は力を入れて多くの出場参加を望んでいるので出場希望者は九月十五日迄に申込みたいと、申込み先は東京都港区西新橋一丁目十一ノ七日日本琵琶協会の本コンクールで一位入選者には文部大臣賞、協会本賞、日本放送協会賞、その他副賞も授与される。二位二名、三位三名にも協会賞その他が授与され、ラジオ放送の特典がある。

若水会吟詠大会

九月二十七日に 全電通労働会館



(若水松樹師)

東京琵琶界に無比の美声王と卓節の巨匠と名声高い若水松樹師は、南は九州から北は北海道までに多くの支援者を擁し、招待出演毎に満場の人気を呼んでいるが、師が統率する若水会の吟詠琵琶の両部も会員激増で指導に多忙を極めて

総伝 出口石水師

一水会中央支部主催の九月大会で、総伝昇格の支部会員四氏の披露が行われる。その一人の出口石水師は現在中央支部の副支部長であり温厚誠実の人格者で、歯科医の院長であり、新宿区の有志で幾多の町役員や名誉職を勤めた徳望の紳士である。琵琶道五十年の古老で、故人入田田藤川翁の高弟で知られ、数年前に一水会に移籍された謙直高潔の名手である。

平野鉦水師の 十周年記念大会

十月十一日逗子で

湘南四絃界随一の活動家であり巧者であり人気王である逗子の平野鉦水師は、その主宰する絃和会の創立十周年を迎え記念行事として十月十一日午後一時より逗子市立図書館ホールに於て記念琵琶演奏大会を催される。出演は一水会本部会長小山田貫水、同副会長宮原琢水、錦琵琶宗家水藤錦樓、聖和会同人、錦樓一門、一水会横浜、横須賀、湘南の各支部名手有志略定の模様で、会主平野師の日

東京橋会の温習会

東京橋会の九月温習会は、来る二十六日正午より世田谷区代田の山元旭錦師方で開かれる。

鎌倉宮祭琵琶奉奏

湘南琵琶の元老、鎌倉琵琶一世曾我電城師の主唱で毎年行われている鎌倉宮大祭に協賛の琵琶奉納演奏は、今年も八月二十日祭典式直後の午前十一時より拝殿に於て行われた。奉納責任者曾我師の「錦の御旗」演奏を序に、遠藤鶴東、古家絃風、大塚岳峻、脇田穂兵、平野鉦水、齋藤殊水、山田幻水の八氏が真技を揮って神慮を奉慰し関係者や参詣者より感謝された。

故窪田師を追悼

錦心流輝派宗家故窪田凌名人の遺業である輝派琵琶水会本部の山梨支部長である甲府の窪田錦晃師(本名光三)が七月十七日深夜零時二分に逝去された。行年七半歳。この訃報は十七日正午過ぎ輝水会東京本部の福沢立枝女史より電話通知で、これを聞いた一瞬驚きと痛惜で暗然としたが、葬儀が翌十八日午後三時に仏式に依

晴風会の九月例会

東京琵琶界の鬼才浅野晴風師主宰する晴風会の九月演奏会は、十二日夕に杉並区高円寺会館に於て開催される。

大津先生一周忌

元地検検事正、日本大学教授、弁護士で温厚高潔の人格紳士と高名を馳せた大津民藏先生が、昨年八月八日夜突然脳出血で急逝されたから早くも一周年。施主明氏と未亡人旭紅女史で、民藏先生一周忌法要を八月八日午後二時茨窪の自宅二階広間で遺族、親戚、親友等五十余名参列して営まれた。故先生の大写真の前に位牌「大法院殿願海輝舟居士」を安置、供花供物数々を供え、本願寺僧の奉経で厳修。一同焼香礼拝して御冥福を追悼す。一同焼香礼拝して御冥福を追悼す。池畔亭で供養清宴に招かれ、二時間に及ぶ款待を受けられた。

文部大臣賞を 目標の琵琶コン クール申込み早く

目標の琵琶コンクール申込み早く

日本琵琶協会の主催の四十五年度琵琶コンクールは、前号報道の通り九月二十七日銀座交詢社ホールに於て開催される。この催しは新人の登竜門として主催側は力を入れて多くの出場参加を望んでいるので出場希望者は九月十五日迄に申込みたいと、申込み先は東京都港区西新橋一丁目十一ノ七日日本琵琶協会の本コンクールで一位入選者には文部大臣賞、協会本賞、日本放送協会賞、その他副賞も授与される。二位二名、三位三名にも協会賞その他が授与され、ラジオ放送の特典がある。

若水会吟詠大会

九月二十七日に 全電通労働会館



(若水松樹師)

東京琵琶界に無比の美声王と卓節の巨匠と名声高い若水松樹師は、南は九州から北は北海道までに多くの支援者を擁し、招待出演毎に満場の人気を呼んでいるが、師が統率する若水会の吟詠琵琶の両部も会員激増で指導に多忙を極めて

総伝 出口石水師

一水会中央支部主催の九月大会で、総伝昇格の支部会員四氏の披露が行われる。その一人の出口石水師は現在中央支部の副支部長であり温厚誠実の人格者で、歯科医の院長であり、新宿区の有志で幾多の町役員や名誉職を勤めた徳望の紳士である。琵琶道五十年の古老で、故人入田田藤川翁の高弟で知られ、数年前に一水会に移籍された謙直高潔の名手である。

平野鉦水師の 十周年記念大会

十月十一日逗子で

湘南四絃界随一の活動家であり巧者であり人気王である逗子の平野鉦水師は、その主宰する絃和会の創立十周年を迎え記念行事として十月十一日午後一時より逗子市立図書館ホールに於て記念琵琶演奏大会を催される。出演は一水会本部会長小山田貫水、同副会長宮原琢水、錦琵琶宗家水藤錦樓、聖和会同人、錦樓一門、一水会横浜、横須賀、湘南の各支部名手有志略定の模様で、会主平野師の日

東京橋会の温習会

東京橋会の九月温習会は、来る二十六日正午より世田谷区代田の山元旭錦師方で開かれる。

鎌倉宮祭琵琶奉奏

湘南琵琶の元老、鎌倉琵琶一世曾我電城師の主唱で毎年行われている鎌倉宮大祭に協賛の琵琶奉納演奏は、今年も八月二十日祭典式直後の午前十一時より拝殿に於て行われた。奉納責任者曾我師の「錦の御旗」演奏を序に、遠藤鶴東、古家絃風、大塚岳峻、脇田穂兵、平野鉦水、齋藤殊水、山田幻水の八氏が真技を揮って神慮を奉慰し関係者や参詣者より感謝された。

故窪田師を追悼

錦心流輝派宗家故窪田凌名人の遺業である輝派琵琶水会本部の山梨支部長である甲府の窪田錦晃師(本名光三)が七月十七日深夜零時二分に逝去された。行年七半歳。この訃報は十七日正午過ぎ輝水会東京本部の福沢立枝女史より電話通知で、これを聞いた一瞬驚きと痛惜で暗然としたが、葬儀が翌十八日午後三時に仏式に依

晴風会の九月例会

東京琵琶界の鬼才浅野晴風師主宰する晴風会の九月演奏会は、十二日夕に杉並区高円寺会館に於て開催される。

大津先生一周忌

元地検検事正、日本大学教授、弁護士で温厚高潔の人格紳士と高名を馳せた大津民藏先生が、昨年八月八日夜突然脳出血で急逝されたから早くも一周年。施主明氏と未亡人旭紅女史で、民藏先生一周忌法要を八月八日午後二時茨窪の自宅二階広間で遺族、親戚、親友等五十余名参列して営まれた。故先生の大写真の前に位牌「大法院殿願海輝舟居士」を安置、供花供物数々を供え、本願寺僧の奉経で厳修。一同焼香礼拝して御冥福を追悼す。一同焼香礼拝して御冥福を追悼す。池畔亭で供養清宴に招かれ、二時間に及ぶ款待を受けられた。

